

11月9日から12日までの園まつりで展示する子供たちの作品ができるまでの物語を10月29日の保護者会にて園長よりお話ししました。

年少の子供たちがたっぴりと素材と関わり、五感でそのものを知ることからはじまり、その素材を使って自分のイメージしたことを見立てて遊ぶ面白さを感じるようになること。その育ちの先にあるのが園まつりの作品づくり。親しんできた素材を使って、作る楽しさを感じてきたことをお話ししました。

年中の子供たちは自分の作りたいものを、リアルに表現しようとしたり、イメージしたように可愛らしく形にしようとしたり。一人一人の思いが、より一層作品に表れるようになります。さらに、友達を手助けしたり、友達の作品に興味をもって一緒に考えたり作ったりもするようになってきたことを紹介しました。

そして、年長ではクラスのみinnで作るものを相談して、共感したり、折り合ったりしながら進めてきたこと。その話し合いの物語からはじまり、作りたいもの一つ一つを形にしていくために試行錯誤していく様子を紹介しました。たった一つのドア、どんでん返し、しゅりけん、コリントゲームも、出来るまでの物語を知っていただくことで、作品への思いを感じながらご覧いただけるのではないかと期待しています。

園長の話のあとには、年中、年長のクラスに入り、保護者の方に作品をご覧いただき、保護者会を終了いたしました。

※園まつり当日には「あゆみの部屋」にて、本日の映像が流れます。

※各展示室には、担任が準備した「作品ができるまでの物語」も展示します。どうぞ、園まつり当日を楽しみにしてください。



作品づくりの動画をご覧いただきました。



保護者の方も、子供の物語を楽しんでくださいました。



おうちの方に「これはね」と紹介しています。

